

古河一高生考案「サンデー」

地元2銘菓使い商品化

公方公園 カフェ 来月5日発売

県立古河一高流通ビジネス科の3年生6人が考案した「サンデー」が、古河公方公園(古河市鴻巣)のカフェの商品に採用され、3月5日に発売される。カフェで人気のソフトクリームに、地元の銘菓2品を組み合わせた。生徒は「サンデーを食べて、古河においしい銘菓があることを知ってほしい」とアピールしている。

商品名は「ごかぼうやさん 味わえる」。

1925年創業のミヤト製菓(同市下田)のかきあげと、御家實業商店(同市横山町3丁目)が製造する「御家實業」を使っているのが特徴だ。

細かく砕いたかりんとうを底に敷き、ソフトクリームにかきあげる。きなこ黒蜜をかきあげる。きなこ黒蜜をかきあげる。きなこ黒蜜をかきあげる。

実習当日は家族連れらが買求めて、目標の3倍を超える175個を売り上げた。ことか和と洋の異なる甘さ、食感が、同社がレギュラー化を提

和洋異なる甘さ、食感

案し、商品化が決まった。これを受け、カップサイズを大きくして増量。生徒が実習で使ったリーフレットを基に、新たなポップを作製した。

発売日は3月19日開幕の古河桃まつりを見据えて決定。

同社は特に住民や地元出身者に食べてもらうことで、地域の味の再発見につながることを期待している。高橋社長は「メニューを増やしていきたい」と述べ、今後も同校との連携を続ける方針を示した。

生徒たちは「商品になり、素直にうれしい。古河のPRになれば」と話し、「コロナ禍で活動が制限された高校生活の良い思い出となった」と喜んだ。

価格は1個500円を予定している。(溝口正則)



作製したポップで「ごかぼうやさんでー」をPRする高橋光社長(後列中央右)と古河一高の生徒(古河市旭町)



古河一高の生徒が考案した「ごかぼうやさんでー」=同市鴻巣の古河公方公園